Nikon

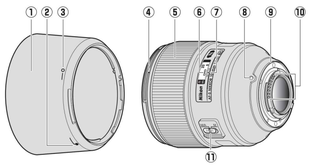
NIKKOR

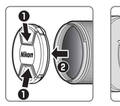
AF-S NIKKOR 105mm f/1.4E ED

Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario
Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서

Printed in Japan
SB6F01(7C)
7MA0397C-01

NIKON CORPORATION





日本語

ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの使用説明書もご覧ください。

- このレンズは、デジタル一眼レフカメラのD2シリーズ、D1シリーズ、D200、D100、D90、D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ、D3000、およびフィルム一眼レフカメラには対応していません。

■ 安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

⚠ 警告「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

🛇 **は、してはいけない内容です。**

❗ **は、実行しなければならない内容です。**

⚠ 警告

分解禁止 **分解、修理または改造をしない**
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。

実行 **熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源を取り外す**
放置すると、発火、やけどの原因になります。

禁止 **水でぬらさない**
ぬれた手で触らない
感電や発火の原因になります。

禁止 **引火、爆発のおそれのある場所では使わない**
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガス や粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。

禁止 **レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ない**
失明や視力障害の原因になります。

禁止 **幼児の手の届くところに置かない**
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

禁止 **高温環境や低温環境では、直接触らない**
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

⚠ 注意

禁止 **レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない**
集光して、内部部品の破損や発火の原因になります。

禁止 **夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない**
故障や発火の原因になります。

■ 各部の名称

① フード
② フード取り付け指標
③ フードセット指標
④ フード着脱指標
⑤ レンズ鏡筒指標
⑥ 距離目盛
⑦ 距離目盛基準線
⑧ レンズ鏡筒指標
⑨ レンズマウントゴムリング
⑩ CPU 信号接点
⑪ フォーカスモード切り換えスイッチ

■ ピント合わせの方法

撮影目的によって、下表のようなピント合わせが選択できます。

- カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧ください。

カメラのフォーカスモード	レンズのフォーカスモード	
	M/A	M
AF	マニュアル優先オートフォーカス	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）
MF	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）	

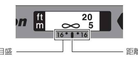
M/A(マニュアル優先オートフォーカスモード)の使い方

オートフォーカス撮影中にマニュアルフォーカスに切り換えることができます。

1. **レンズのフォーカスモード切り換えスイッチを（M/A）にセットする**
2. **オートフォーカス撮影時、カメラのシャッターボタンを半押ししたまま、あるいはカメラの AF-ON（AF 作動）ボタンを保持したまま、フォーカスリングを手で回転させる**
   - 瞬時にマニュアルフォーカス撮影が行えます。
   - カメラのシャッターボタンを再度半押ししたり、カメラの AF-ON（AF 作動）ボタンを再度操作するとオートフォーカスで撮影が可能となります。

■ 被写界深度

- 被写体の前後のピントが合う範囲（被写界深度）は、カメラのプレビュー（絞り込み）機能を使って確認できます。
- 距離目盛と距離目盛基準線の両側にある被写界深度目盛を使うと、おおまかその被写界深度を知ることができます。
- 距離目盛は目安であり、被写体までの距離を保証するものではありません。また、遠景撮影でも被写界深度などの影響により∞マークに届かない位置でピントが合う場合があります。



被写界深度目盛　距離目盛基準線

■ 絞り値の設定

絞り値は、カメラ側で設定してください。

■ カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

カメラの内蔵フラッシュをお使いのときは、ケラレを防止するためにレンズのフードは取り外して使用してください。
※カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、画像に写りこむ現象です。

■ フードの使い方

画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。

取り付け方

- フード着脱指標（●）とフード取り付け指標（▲▔）を合わせて（❶）、フードを矢印（❷）の方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標（—○）を合わせてください（❸）。
- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標（▲▔）付近を持って回転させてください。
- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレが生じますのでご注意ください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。着脱の際は、フードセット指標（—○）付近を持って回転させてください。

■ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- レンズをカメラから取り外すと、絞りが開放状態になります。レンズ内部を保護するために、レンズキャップを取り付けるか、太陽光のあたらない所に保管してください。
- 指紋などが付いたままレンズを使用すると、フードだけを持ちたいでください。
- CPU 信号接点は汚さないように注意ください。
- レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- レンズ面を清掃する場合、通常はホコリを払う程度にしてください。
- 最前面と最後面のレンズの表面はフッ素コート加工されています。軟いた布で軽く拭くだけで、汚れを取り除くことができます。表面に指紋がついたときは、柔らかい清潔な太綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーでレンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭き上げ、拭き残りがないように注意して拭いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布を少量の真水、無水アルコール（エタノール）、または市販のレンズクリーナーで湿らせ、軽く拭いてください。フッ素コート加工されたレンズ面は、揮発性、揮発性が高いため、水滴状のまま残ったり、レンズ面を傷つけることがあります。その場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、ニュートラルカラー NC（フィルター）をお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
- レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高湿多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。
- レンズをおくにならず、部品がリビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- 極端に温度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

■ 付属アクセサリー

- 82 mm スプリング式レンズキャップ LC-82
- 裏ぶた LF-4
- バヨネットフード HB-79
- レンズケース CL-1218

■ 使用できるアクセサリー

- 82 mm ネジ込み式フィルター

■ 仕様

型式	ニコン F マウント CPU 内蔵 E タイプ、AF-S レンズ
焦点距離	105 mm
最大口径比	1：1.4
レンズ構成	9 群 14 枚（ED レンズ 3 枚、ナノクリスタルコートあり、フッ素コートあり）
画角	23° 10′（FX フォーマットのデジタル一眼レフカメラ） 15° 20′（DX フォーマットのデジタル一眼レフカメラ）
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ピント合わせ	IF（ニコン内蔵）方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
撮影距離目盛	∞～ 1.0 m
最短撮影距離	撮像面から 1.0 m
絞り羽根枚数	9 枚（円形絞り）
絞り方式	電磁絞りによる自動絞り
絞りの範囲	f/1.4－16
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	82 mm（P＝0.75 mm）
寸法	約 94.5 mm（最大径）× 106 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約 985 g

※　製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■ ニコンプラザのご案内

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。お客さまのデジタルイメージングの世界を拡げ、写真文化の普及、向上に貢献するよう日夜しています。
※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザ銀座

〒 104-0061　東京都中央区銀座 7-10-1　ストラータ ギンザ 1・2 階
営業時間：10:30 ～ 18:30（年末年始、2 月の第 1 土曜日とその翌日、8 月の第 2 土曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ新宿

〒 163-1528　東京都新宿区西新宿 1-6-1　新宿エルタワー 28 階
営業時間：10:30 ～ 18:30（年末年始、2 月 11 日・12 日、8 月の第 3 日曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ名古屋

〒 461-0005　名古屋市東区東桜 1-13-3　NHK 名古屋放送センタービル 2 階
営業時間：10:30 ～ 18:30（日曜日、祝日、年末年始を除く毎日）

ニコンプラザ大阪

〒 530-0001　大阪市北区梅田 2-2-2　ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13 階
営業時間：10:30 ～ 18:30（年末年始、2 月の第 3 土曜日とその翌日、8 月の第 3 土曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザショールーム（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル
0570-02-8080

ニコンプラザサービスセンター（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル
0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

English

Before using this product, please carefully read both these instructions and the camera manual.
Note: This lens does not support D2- or D1-series, D200, D100, D90, D80, D70-series, D60, D50, D40-series, or D3000 digital SLR cameras or film SLR cameras.

■ For Your Safety

To prevent damage to property or injury to yourself or to others, read "For Your Safety" in its entirety before using this product.

Keep these safety instructions where all those who use this product will read them.

⚠ WARNING: Failure to observe the precautions marked with this icon could result in death or severe injury.

⚠ CAUTION: Failure to observe the precautions marked with this icon could result in injury or property damage.

⚠ WARNING

- **Do not disassemble or modify this product.**
  Do not touch internal parts that become exposed as the result of a fall or other accident.
  Failure to observe these precautions could result in electric shock or other injury.
- **Should you notice any abnormalities such as the product producing smoke, heat, or unusual odors, immediately disconnect the camera power source.**
  Continued operation could result in fire, burns or other injury.
- **Keep dry.**
  Do not handle with wet hands.
  Failure to observe these precautions could result in fire or electric shock.
- **Do not use this product in the presence of flammable dust or gas such as propane, gasoline or aerosols.**
  Failure to observe this precaution could result in explosion or fire.
- **Do not directly view the sun or other bright light source through the lens or camera.**
  Failure to observe this precaution could result in visual impairment.
- **Keep this product out of reach of children.**
  Failure to observe this precaution could result in injury or product malfunction. In addition, note that small parts constitute a choking hazard. Should a child swallow any part of this product, seek immediate medical attention.
- **Do not handle with bare hands in locations exposed to extremely high or low temperatures.**
  Failure to observe this precaution could result in burns or frostbite.

⚠ CAUTION

- **Do not leave the lens pointed at the sun or other strong light sources.**
  Light focused by the lens is a source of fire and damage to the product's internal parts.
- **Do not leave the product where it will be exposed to extremely high temperatures, for an extended period such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.**
  Failure to observe this precaution could result in fire or product malfunction.

■ Notice for Customers in Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Parts of the Lens

① Lens hood
② Lens hood alignment mark
③ Lens hood lock mark
④ Lens hood mounting mark
⑤ Focus ring
⑥ Focus distance indicator
⑦ Focus distance mark
⑧ Lens mounting mark
⑨ Rubber lens-mount gasket
⑩ CPU contacts
⑪ Focus-mode switch

■ Focus

Supported focus modes are shown in the following table (for information on camera focus modes, see the camera manual).

Camera focus mode	Lens focus mode	
	M/A	M
AF	Autofocus with manual override	Manual focus with electronic rangefinder
MF	Manual focus with electronic rangefinder	

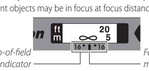
M/A (Autofocus with Manual Override)

To focus using autofocus with manual override (M/A):

1. Slide the lens focus-mode switch to M/A.
2. Focus.
   If desired, autofocus can be over-ridden by rotating the lens focus ring while the shutter-release button is pressed halfway (or, if the camera is equipped with an AF-ON button, while the AF-ON button is pressed). To refocus using autofocus, press the shutter-release button halfway or press the AF-ON button again.

■ Depth of Field

Depth of field can be previewed using the camera's depth-of-field preview feature. A rough approximation is also provided by the focus distance indicator and by the depth-of-field indicator to either side of the focus distance mark, but note that these distances are intended as a guide only and may not be completely accurate. Due to the effects of depth of field and other factors, distant objects may be in focus at focus distances under ∞.



Depth-of-field indicator　*Focus distance mark*

■ Aperture

Aperture is adjusted using camera controls.

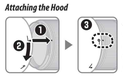
■ Built-in Flash Units

When using the built-in flash on cameras equipped with a built-in flash unit, remove the lens hood to prevent vignetting (shadows created where the end of the lens obscures the built-in flash).

■ The Lens Hood

The lens hoods protect the lens and block stray light that would otherwise cause flare or ghosting.

Attaching the Hood



Align the lens hood mounting mark (●) with the lens hood alignment mark (▲▔) and then rotate the hood (❷) until the ● mark is aligned with the lens hood lock mark (—○).

When attaching or removing the hood, hold it near the ▲▔ symbol on its base and avoid gripping it too tightly. Vignetting may occur if the hood is not correctly attached. The hood can be reversed and mounted on the lens when not in use. When the hood is reversed, it can be attached and removed by rotating it while holding it near the lock mark (—○).

■ Lens Care

- The lens returns to maximum aperture when removed from the camera. To protect the interior of the lens, store it out of direct sunlight or replace the lens caps.
- Do not pick up or hold the lens or camera using only the lens hood.
- Keep the CPU contacts clean.
- Should the rubber lens-mount gasket be damaged, cease use immediately and take the lens to a Nikon-authorized service center for repair.
- Removing dust is normally sufficient to clean the glass surfaces of the lens.
- The fluorine-coated front and rear elements can be cleaned simply by wiping them with a dry cloth. Smudges and fingerprints can be removed using a soft, clean cotton cloth or lens cleaning tissue; clean from the center outwards using a circular motion, taking care not to leave smears or touch the glass surface with your fingers. To remove stubborn stains, wipe gently using a soft cloth dampened with a small amount of distilled water, ethanol, or lens cleaner. Drop-shaped stains on the water- and oil-repellent fluorine-coated elements can be removed with a dry cloth.
- Never use organic solvents such as paint thinner or benzene to clean the lens.
- The lens hood or Neutral Color (NC) filters can be used to protect the front lens element.
- Attach the front and rear caps before placing the lens in its lens case.
- If the lens will not be used for an extended period, store it in a cool, dry location to prevent mold and rust. Do not store in direct sunlight or with naphtha or camphor moth balls.
- Keep the lens dry. Rusting of the internal mechanism can cause irreparable damage.
- Leaving the lens in extremely hot locations could damage or warp parts made from reinforced plastic.
- Rapid changes in temperature may cause damaging condensation inside and outside the lens. Before taking the lens from a warm to a cold environment or vice versa, place it in its case or a plastic bag to slow the change in temperature.

■ Supplied Accessories

- LC-82 82 mm snap-on Front Lens Cap
- LF-4 Rear Lens Cap
- HB-79 Bayonet Hood
- CL-1218 Lens Case

■ Compatible Accessories

- 82 mm screw-on filters

■ Specifications

Type	Type E AF-S lens with built-in CPU and F mount
Focal length	105 mm
Maximum aperture	f/1.4
Lens construction	14 elements in 9 groups (including 3 ED lens elements and lens elements with Nano-Crystal or fluorine coatings)
Angle of view	• Nikon FX-format D-SLR cameras: 23° 10′ • Nikon DX-format D-SLR cameras: 15° 20′
Distance information	Output to camera
Focusing	Nikon Internal Focusing (IF) System with autofocus controlled by Silent Wave Motor and separate focus ring for manual focus
Focus distance indicator	1.0 m to infinity (∞)
Minimum focus distance	1.0 m (3.3ft) from focal plane
Diaphragm blades	9 (rounded diaphragm opening)
Diaphragm	Automatic electronic aperture control
Aperture range	f/1.4 – 16
Metering	Full aperture
Filter-attachment size	82 mm (P = 0.75 mm)
Dimensions	Approx. 94.5 mm maximum diameter × 106 mm (distance from camera lens mount flange)
Weight	Approx. 985 g (2 lb 2.8 oz)

Nikon reserves the right to change the appearance, specifications, and performance of this product at any time and without prior notice.

■ Avis pour les Clients au Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Parties de l'objectif

① Parasoleil
② Repère d'alignement du parasoleil
③ Repère de verrouillage du parasoleil
④ Repère de montage du parasoleil
⑤ Bague de mise au point
⑥ Indicateur de distance de mise au point
⑦ Repère de distance de mise au point
⑧ Repère de montage de l'objectif
⑨ Joint en caoutchouc de la monture d'objectif
⑩ Contacts du microprocesseur
⑪ Commutateur du mode de mise au point

■ Mise au point

Les modes de mise au point pris en charge sont indiqués dans le tableau suivant (pour en savoir plus sur les modes de mise au point de l'appareil photo, consultez le manuel de ce dernier).

Mode de mise au point de l'appareil photo	Mode de mise au point de l'objectif	
	M/A	M
AF	Autofocus à priorité manuelle	Mise au point manuelle avec télémètre électronique
MF	Mise au point manuelle avec télémètre électronique	

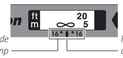
M/A (Autofocus à priorité manuelle)

Pour faire la mise au point en utilisant l'autofocus à priorité manuelle (M/A) :

1. Positionnez le commutateur du mode de mise au point de l'objectif sur M/A.
2. Effectuez la mise au point.
   Si vous le souhaitez, vous pouvez désactiver l'autofocus en pivotant la bague de mise au point de l'objectif avec le déclencheur appuyé à mi-course (ou avec la commande AF-ON appuyée, si l'appareil photo est pourvu d'une commande AF-ON). Pour refaire la mise au point avec l'autofocus, appuyez à mi-course sur le déclencheur ou appuyez de nouveau sur la commande AF-ON.

■ Profondeur de champ

Vous pouvez avoir un aperçu de la profondeur de champ à l'aide de la fonction d'aperçu de la profondeur de champ de l'appareil photo. Une approximation est également donnée par l'indicateur de distance de mise au point et par l'indicateur de profondeur de champ, situés de part et d'autre du repère de la distance de mise au point. Notez cependant que ces distances ne sont qu'indicatives et peuvent ne pas être très précises. En raison des effets de la profondeur de champ et d'autres facteurs, les objets éloignés peuvent être nets à des distances de mise au point inférieures à ∞.



Indicateur de profondeur de champ　*Repère de distance de mise au point*

■ Ouverture

Pour régler l'ouverture, utilisez les commandes de l'appareil photo.

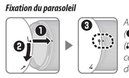
■ Flash intégré

Lorsque vous utilisez le flash intégré d'un appareil photo qui en est équipé, retirez le parasoleil pour éviter le vignettage (ombres créées là où l'extrémité de l'objectif occulte le flash intégré).

■ Parasoleil

Le parasoleil protège l'objectif et bloque la lumière diffuse pouvant causer de la lumière parasite ou une image fantôme.

Fixation du parasoleil



Alignez le repère de montage du parasoleil (●) sur le repère d'alignement du parasoleil (▲▔), puis tournez le parasoleil (❷) jusqu'à ce que le repère ● soit aligné sur le repère de verrouillage du parasoleil (—○).

Lors de la fixation ou du retrait du parasoleil, tenez-le près du symbole ▲▔ sur sa base, et évitez de le serrer trop fermement. Un vignettage peut se produire si le parasoleil n'est pas correctement attaché. Le parasoleil peut être retourné et monté sur l'objectif lorsqu'il n'est pas utilisé. Lorsque le parasoleil est retourné, vous pouvez le fixer ou le retirer en le faisant pivoter tout en le tenant au niveau du repère de verrouillage (—○).

Français

Avant de l'utiliser, veuillez lire attentivement ces instructions et le manuel de l'appareil photo.
Remarque : cet objectif n'est pas compatible avec les reflex argentiques ou avec les reflex numériques de gamme D2, gamme D1, D200, D100, D90, D80, gamme D70, D60, D50, gamme D40 ou D3000.

■ Pour votre sécurité

Afin d'éviter de provoquer des dommages matériels ou de vous blesser ou de blesser vos proches, lisez intégralement « Pour votre sécurité » avant d'utiliser ce produit.

Conservez ces consignes de sécurité dans un endroit facilement accessible à tous ceux qui pourraient se servir de ce produit.

⚠ AVERTISSEMENT : le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à un danger de mort ou à de graves blessures.

⚠ ATTENTION : le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à des blessures ou provoquer des dommages matériels.

⚠ AVERTISSEMENT

- **Ne démontez pas ou ne modifiez pas ce produit.**
  Ne touchez pas les composants internes qui sont exposés suite à une chute ou à un autre accident.
  Le non-respect de ces consignes peut provoquer un choc électrique ou d'autres blessures.
- **Si vous observez des anomalies provenant du produit comme de la fumée, de la chaleur ou des odeurs inhabituelles, débranchez immédiatement la source d'alimentation de l'appareil photo.**
  Continuer d'utiliser le matériel risque de provoquer un incendie, des brûlures ou d'autres blessures.
- **Gardez votre matériel au sec.**
  Ne le manipulez pas avec les mains mouillées.
  Le non-respect de ces consignes de sécurité peut provoquer un incendie ou un choc électrique.
- **N'utilisez pas ce produit en présence de poussières ou de gaz inflammables comme du propane, de l'essence ou des aérosols.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer une explosion ou un incendie.
- **N'observez pas directement le soleil ou autre source lumineuse puissante à travers l'objectif ou l'appareil photo.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des troubles visuels.
- **Conservez ce produit hors de portée des enfants.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des blessures ou le dysfonctionnement du produit. En outre, notez que les petites pièces présentent un risque d'étouffement. Si jamais un enfant avalait une pièce de ce produit, consultez immédiatement un médecin.
- **Ne manipulez pas le matériel à mains nues dans des lieux exposés à des températures extrêmement basses ou élevées.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des brûlures ou des engelures.

⚠ ATTENTION

- **Ne pointez pas l'objectif en direction du soleil ou d'autres sources très lumineuses.**
  La lumière focalisée par l'objectif est une source d'incendie et peut endommager les composants internes du produit.
- **Ne laissez pas le produit exposé à des températures excessivement chaudes pendant une période prolongée, comme dans une voiture fermée ou en plein soleil.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer un incendie ou le dysfonctionnement du produit.

■ Avis pour les Clients au Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Parties de l'objectif

① Parasoleil
② Repère d'alignement du parasoleil
③ Repère de verrouillage du parasoleil
④ Repère de montage du parasoleil
⑤ Bague de mise au point
⑥ Indicateur de distance de mise au point
⑦ Repère de distance de mise au point
⑧ Repère de montage de l'objectif
⑨ Joint en caoutchouc de la monture d'objectif
⑩ Contacts du microprocesseur
⑪ Commutateur du mode de mise au point

■ Mise au point

Les modes de mise au point pris en charge sont indiqués dans le tableau suivant (pour en savoir plus sur les modes de mise au point de l'appareil photo, consultez le manuel de ce dernier).

Mode de mise au point de l'appareil photo	Mode de mise au point de l'objectif	
	M/A	M
AF	Autofocus à priorité manuelle	Mise au point manuelle avec télémètre électronique
MF	Mise au point manuelle avec télémètre électronique	

M/A (Autofocus à priorité manuelle)

Pour faire la mise au point en utilisant l'autofocus à priorité manuelle (M/A) :

1. Positionnez le commutateur du mode de mise au point de l'objectif sur M/A.
2. Effectuez la mise au point.
   Si vous le souhaitez, vous pouvez désactiver l'autofocus en pivotant la bague de mise au point de l'objectif avec le déclencheur appuyé à mi-course (ou avec la commande AF-ON appuyée, si l'appareil photo est pourvu d'une commande AF-ON). Pour refaire la mise au point avec l'autofocus, appuyez à mi-course sur le déclencheur ou appuyez de nouveau sur la commande AF-ON.

■ Profondeur de champ

Vous pouvez avoir un aperçu de la profondeur de champ à l'aide de la fonction d'aperçu de la profondeur de champ de l'appareil photo. Une approximation est également donnée par l'indicateur de distance de mise au point et par l'indicateur de profondeur de champ, situés de part et d'autre du repère de la distance de mise au point. Notez cependant que ces distances ne sont qu'indicatives et peuvent ne pas être très précises. En raison des effets de la profondeur de champ et d'autres facteurs, les objets éloignés peuvent être nets à des distances de mise au point inférieures à ∞.

Indicateur de profondeur de champ　*Repère de distance de mise au point*

■ Ouverture

Pour régler l'ouverture, utilisez les commandes de l'appareil photo.

■ Flash intégré

Lorsque vous utilisez le flash intégré d'un appareil photo qui en est équipé, retirez le parasoleil pour éviter le vignettage (ombres créées là où l'extrémité de l'objectif occulte le flash intégré).

■ Parasoleil

Le parasoleil protège l'objectif et bloque la lumière diffuse pouvant causer de la lumière parasite ou une image fantôme.

Fixation du parasoleil

Alignez le repère de montage du parasoleil (●) sur le repère d'alignement du parasoleil (▲▔), puis tournez le parasoleil (❷) jusqu'à ce que le repère ● soit aligné sur le repère de verrouillage du parasoleil (—○).

Lors de la fixation ou du retrait du parasoleil, tenez-le près du symbole ▲▔ sur sa base, et évitez de le serrer trop fermement. Un vignettage peut se produire si le parasoleil n'est pas correctement attaché. Le parasoleil peut être retourné et monté sur l'objectif lorsqu'il n'est pas utilisé. Lorsque le parasoleil est retourné, vous pouvez le fixer ou le retirer en le faisant pivoter tout en le tenant au niveau du repère de verrouillage (—○).

■ Entretien de l'objectif

- L'objectif retrouve son ouverture maximale après avoir été retiré de l'appareil photo. Pour protéger l'intérieur de l'objectif, rangez-le à l'abri de la lumière directe du soleil ou remettez en place ses bouchons.
- Ne prenez pas ou ne tenez pas l'objectif ou l'appareil photo en saisissant uniquement le parasoleil.
- Maintenez les contacts du microprocesseur propres.
- Si le joint en caoutchouc de la monture d'objectif est endommagé, cessez immédiatement l'utilisation et confiez l'objectif à un centre Nikon agréé pour le faire réparer.
- Normalement, enlever la poussière suffit pour nettoyer les surfaces en verre de l'objectif.
- Les lentilles avant et arrière, traitées au fluor, peuvent être nettoyées simplement avec un chiffon sec. Les taches et les traces de doigt peuvent être effacées avec un tissu propre et doux en coton ou une lingette nettoyante pour objectif ; nettoyez avec un mouvement circulaire à partir du centre vers l'extérieur, tout en prenant soin de ne pas laisser de traces, ni de toucher le verre avec les doigts. Pour retirer les taches tenaces, essuyez délicatement avec un chiffon doux et imbibé d'une petite quantité d'eau distillée, d'éthanol ou de nettoyant pour objectif. Les taches en forme de goutte présentes sur les lentilles traitées au fluor (hydrofuges et oléofuges) peuvent être retirées avec un chiffon sec.
- N'utilisez jamais de solvants organiques comme un diluant à peinture ou du benzène pour nettoyer l'objectif.
- Le parasoleil d'objectif ou les filtres neutres (NC) permettent de protéger la lentille avant.
- Fixez les bouchons avant et arrière avant de placer l'objectif dans son étui.
- Si vous n'avez pas l'intention d'utiliser l'objectif pendant une période prolongée, rangez-le dans un endroit frais et sec pour éviter la moisissure et la rouille. Ne pas ranger à la lumière directe du soleil ou avec des boules antimites de naphtaline ou de camphre.
- Tenez l'objectif au sec. La formation de rouille sur le mécanisme interne peut causer des dégâts irréparables.
- Laisser l'objectif dans des endroits extrêmement chauds peut endommager ou déformer les éléments composés de plastique renforcé.
- Les changements brusques de température peuvent être à l'origine d'une condensation préjudiciable à l'intérieur et à l'extérieur de l'objectif. Avant de faire passer l'objectif d'un environnement chaud à froid ou vice versa, rangez-le dans son étui ou dans un sac plastique pour ralentir le changement de température.

■ Accessoires fournis

- LC-82 Bouchon avant d'objectif encliquetable 82 mm
- LF-4 Bouchon arrière d'objectif
- HB-79 Parasoleil à baïonnette
- CL-1218 Étui pour objectif

■ Accessoires compatibles

- Filtres à visser 82 mm

■ Caractéristiques

Type	Objectif AF-S de type E avec microprocesseur intégré et monture F
Focale	105 mm
Ouverture maximale	f/1.4
Construction optique	14 lentilles en 9 groupes (dont 3 lentilles en verre ED et des lentilles bénéficiant d'un traitement nanocristal ou au fluor)
Angle de champ	• Reflex numériques Nikon de format FX : 23° 10′ • Reflex numériques Nikon de format DX : 15° 20′
Information de distance	Communiquée au boîtier de l'appareil photo
Mise au point	Système de mise au point interne de Nikon (IF, Internal Focusing) avec autofocus commandé par un moteur ondulatoire silencieux (SWM) et bague de mise au point pour mise au point manuelle
Indicateur de distance de mise au point	1,0 m à l'infini (∞)
Distance minimale de mise au point	1,0 m depuis le plan focal
Lamelles de diaphragme	9 (diaphragme circulaire)
Diaphragme	Contrôle automatique et électronique de l'ouverture
Plage des ouvertures	f/1,4 – 16
Mesure	Pleine ouverture
Diamètre de fixation pour filtre	82 mm (P = 0,75 mm)
Dimensions	Environ 94,5 mm de diamètre maximum × 106 mm (distance à partir du plan d'appui de la monture d'objectif de l'appareil photo)
Poids	Environ 985 g

Nikon se réserve le droit de modifier à tout moment l'apparence, les caractéristiques et les performances de ce produit sans avis préalable.

Español

Antes de utilizar este producto, lea detenidamente tanto estas instrucciones como el manual de la cámara.
Nota: Este objetivo no es compatible con las cámaras SLR digitales de la serie D2 o D1, D200, D100, D90, D80, serie D70, D60, D50, serie D40 o D3000 ni con las cámaras SLR de película.

■ Por su seguridad

Para evitar daños materiales, sufrir lesiones o lesionar a terceros, lea completamente "Por su seguridad" antes de usar este producto.

Guarde estas instrucciones de seguridad en un lugar en el que todos los que usen el producto puedan leerlas.

⚠ ADVERTENCIA: No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones graves o mortales.

⚠ PRECAUCIÓN: No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones o daños materiales.

⚠ ADVERTENCIA

- **No desmonte ni modifique este producto.**
  No toque las piezas internas que puedan quedar expuestas como resultado de una caída u otro accidente.
  No respetar estas precauciones puede causar descargas eléctricas u otras lesiones.
- **Si nota anomalías en el producto, como por ejemplo la emisión de humo, calor u olores inusuales, desconecte Inmediatamente la fuente de alimentación de la cámara.**
  Continuar usando el producto podría causar incendios, quemaduras u otras lesiones.
- **Mantener seco.**
  No manipular con las manos mojadas.
  No respetar estas precauciones puede causar incendios o descargas eléctricas.
- **No use este producto en presencia de polvo o gas inflamable, como por ejemplo propano, gasolina o aerosoles.**
  No respetar esta precaución puede causar explosiones o incendios.
- **No mire directamente al sol u otra fuente de luz brillante a través del objetivo o la cámara.**
  No respetar esta precaución puede causar discapacidad visual.
- **Mantenga este producto alejado de los niños.**
  No respetar esta precaución puede causar lesiones o funcionamientos incorrectos del producto. Además, tenga en cuenta que las piezas pequeñas pueden presentar riesgos de asfixia. Si un niño ingiere cualquier pieza de este producto, solicite asistencia médica inmediatamente.
- **No manipular con las manos descubiertas en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas o bajas.**
  No respetar esta precaución puede causar quemaduras o congelación.

⚠ PRECAUCIÓN

- **No deje el objetivo apuntando hacia el sol ni hacia otras fuentes de luz intensa.**
  La luz enfocada a través del objetivo puede causar incendios y daños a las piezas internas del producto.
- **No deje el producto en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas durante largos períodos, como por ejemplo, en el interior de un vehículo cerrado o en contacto directo con la luz del sol.**
  No respetar esta precaución puede causar incendios o funcionamientos incorrectos del producto.

■ Aviso para los Clientes de Canadá

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Partes del objetivo

① Parasol de objetivo
② Marca de alineación del parasol
③ Marca de bloqueo del parasol
④ Marca de montaje del